

## 第10回全世界空手道選手権大会後記

世界112の国と地域から選抜された192人の  
極真会館の世界大会。

日本代表荒田選手のセコンド兼トレーナーとして東京体育館で三日間を過ごしました。

### ◆ 入賞者

優勝 タリエル・ニコラシヴィリ(ロシア/2010年第42回全日本大会優勝)

2勝 エヴェルトン・テイシェイラ(ブラジル/2007年第9回世界大会優勝)

ロシア/2009全ロシア大会重量級大会準優勝)

立ち上がりこそスロー気味だったにも関わらず一戦ごとに確実に勢いを増していく「房総の金太郎」と荒田選手。足のダメージも徹底したアイシングで大事には至らず。試合前のボディケアもなんとか順調に進めることが出来た。

心身ともに本調子になり、なかなか良い状態で三日目に突入！良い動きを取り戻した4回戦、フランスのジマ・ベルコジャ選手は荒田選手の敵ではなかった。次に小柄だがエネルギーが豊富で高回転フイタータリエル選手(ロシア)。今年全日本大会優勝選手だ。

この二日間で、戦闘能力が突出している両者のどちらかがテイシェイラ選手を迎え討つだろうと予測していました。

そして

昇毅選手 対 タリエル・ニコラシヴィリ選手

”タリエル・ニコラシヴィリ選手が延長戦判定勝ち”

ハイレベル、高回転な二人の打ち合いに会場は大盛り上がり！！

エキサイトな延長戦のなかでまさか注意を受けてしまうとは！

良い流れだっただけに悔しい。

そのまま予想通り前回優勝者のテイシェイラ選手をタリエル・ニコラシヴィリ選手が下し優勝！

荒田選手を倒したロシア人・タリエル選手が世界王者に。

いやはや物凄い一日だった。

大会後の夜、荒田選手からお礼の電話をもらった。

若いのになかなか律儀な男。

後日に労った方が良かったらうとその日のうちは声をかけまいと考えていた私だったが彼の声はなにか爽やかで軽やかだった。

「ありがとうございました！ケアしてもらったお陰で最終日まで戦い抜くことが出来ました・・・次の世界大会に向けて四年間がんばりますのでまた宜しくお願いします！」

なにしろ荒田昇毅選手 対 タリエル・ニコラシヴィリ選手はなかなか見られないものすごい試合だった。良くやりました。終戦早々もう次回に気持ちをシフトしているなんてさすが我らが骨太金太郎！明日から次回に備え、早くも気分は『試合前』ですね！

